

第2学年 体育科 授業構想シート

授業者 則藤 一起

本実践の主張点	休業中から親しんでいる音楽に合わせる活動と、自分たちで転がったり腕で支持したりする運動（以後、「技」とする）を考えてボードに表す活動をしかけることで、様々な技に友達と楽しんで取り組み、自ら探究の質を高める姿が見られるであろう。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 単元名 マット 100% ～みんないっしょにころがるんだ！～
 （音楽に合わせたマット運動遊び）

2. 2年B組の子ども

2学期になり、学校生活にも余裕が出てきた。学習や遊び、生活の中で友達と関わる姿が増え、男子では言い合いのトラブルも出てきた。手が出てしまう子どももいるが、話し合いの時間をじっくりととり、互いの思いを言葉で伝えられるようにしている。遊びは、男子はドッジボールやサッカー、女子はドッジビーやプレイランド遊具遊び、虫取りなどである。男女で一緒にドッジビーやリレー、おにごっこをする子どももおり、男女仲が良い。また、休業中から「勇気 100%」の創作ダンスに取り組んできて、今も踊っているの、この曲にとっても親しんでいる。体育では、みんなで楽しむことを目指して、どの友達ともかかわって活動している。1学期の「投げる運動遊び」では、オーバースローの動きを目指して取り組んだが、見るという力が乏しかったように思う。

3. 何ができるようになるか

探究力	・ 体育の見方・考え方を働かせながら、目の前の未知の問題に対して、探究のプロセスをとおして、解決に取り組む資質・能力
省察性	・ 体育の見方・考え方を働かせながら、自らの学びにおいて学びの方法や道筋を調整・改善したり、学びを意味付けたり、学んだことを自己の生活や行動につなげたりする自己効力感に支えられた資質・能力

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

“みんないっしょにころがるんだ”を目指して、場の安全に気を付けながら、音楽に合わせたマット運動遊びに進んで取り組み、グループで技を考えて、音楽に合わせていろいろな方向に転がったり、腕で支持したりすることができるようになる。

② 教材の価値

マット運動遊びは、マットの上で転がったり、腕で支持したり、身体を反らせたりすることが楽しい運動遊びである。忍Bキッズ^{*1}の自由な発想で様々な技に取り組めると考える。その中で、技のポイントを話し合い、共有していく。また、休業中から親しんでいる「勇気 100%」の曲は、リズム感が身体にしみ込んでいる。このことにより、友達と合わせることが容易になると思われる。友達とリズムを感じてマット運動遊びに取り組むことで、より楽しさが広がると考える。

^{*1}忍Bキッズ（2Bの子どもたちのこと）

5. どのように学ぶのか

①単元における授業づくりの「しかけ」

探究力を育む 主 : 主体 協 : 協働 活 : 活用	省察性を育む 気 : 気付く 決 : 決める 動 : 動く
主 勇気 100%の曲を使うことで、リズムを感じやすくさせたり雰囲気を楽しくさせたりする。 協 マット 100%壁面カードを使うことで、考えたことをグループで共有させやすくする。 活 他グループの壁面カードを見ることで、自分たちの動きに生かすことができるようにする。	気 ペアグループで技を見合う時間を設定することで、良いところ・改善点に気付かせる。 決・動 グループでの話し合いから、自分たちに合った、楽しめる技を考えさえ、活動させる。また、壁面カードに技を残すことで、次の技のヒントにさせる。

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

単元計画（全7時間） 本時4/7 ①グループでマット運動遊びをしよう ～グループでどんな風に転がる？～ 単元の見通しをもつ。グループでゆりかごを合わせてみる。 ②マット 100%を楽しもう ～どんな技を楽しむ？～ 取り入れたい技に取り組む。グループで教え合う。 ③タイミングを考えよう ～どんなタイミングで楽しむ？～ “一緒にする” “ずらす” “順番にする” “2人ずつする” などに取り組む。 ④新しいグループ技にチャレンジ！ ～タイミングを考えたものをみんなでたくさんやってみよう～ 取り入れる技を考えて、技を広げる。 ⑤方向を考えよう ～どんな方向にして楽しむ？～ “中心に（集まる）” “一直線” “平行” “対面” “交差” “外側向いて（広がる）” などに取り組む。 ⑥新しいグループ技にチャレンジ！ ～方向を考えたものをみんなでたくさんやってみよう～ 取り入れる技を見直し、技を広げる。 ⑦みんないっしょにころがるんだ！ ～みんなでマット 100%！～ 今まで工夫してきた技を見合っ、グループ技をより楽しむ。

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・マット 100%の行い方について知っているとともに、音楽に合わせていろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転の動きを身に付けるなどして遊ぶことができる。	・マットを使った簡単な遊び方を選んでいるとともに、友達のよい動きを見つけた、考えたりしたことを友達に伝えていく。	・マット 100%に進んで取り組み、グループで仲良く運動しようとしていたり、場の安全に気を付けようとしていたりする。

体育科学習指導本時案

授業者 則藤 一起

日時：令和2年10月22日（木）第6校時（14:45～15:30）

対象：第2学年B組 30人

本時の主張点	ペアグループで技を見合う場面を設定することで、子どもが自分たちのグループ技をふり返り、より主体的に活動する姿が見られるようになるだろう。
--------	----------------------------------------------------------------------

1. 本時の構想と学習課題について

本時は、グループで技を考える3時間目である。前時は、グループでタイミングについて工夫している。タイミングは、“一緒にする”“ずらす”“順番にする”“2人ずつする”などである。そして本時では、グループ技を広げていく。前転がりを全員でしたり、小さく転がったり、腕支持をそろえたり、グループの実態に応じてグループ技を考えられるようにしていく。課題は“新しいグループ技にチャレンジ!”とする。難しい技に取り組んでいくのではなく、グループで合わせることを主にしていく。

2. 本時における探究の質を高める場面と授業づくりの「しかけ」について

本時における探究の質を高める場面は、ペアグループで技を見合う場面である。見合うことにより、良いと思う技は取り入れたり、上手くいっていない技を見ることで自分たちの技についてもふり返ったりできると考える。また、ペアグループ同士で「もっとこうしたらいい。」「ここ良かったよ。」「○○ちゃん、早かった。もう少し遅くしたら？」などのアドバイスをし合える。これらを意識させることで、自分たちのグループ技をより楽しく、よりかっこよく^{*1}表現できるようにする。壁面カードには、考えた技を残すことも忘れずにしていきたい。「勇气100%」のダンスを考えた際には、曲を聞きながら考えていったので、“どうやったっけ?”となることもしばしばあったからである。付箋に書き残していくことで、後々、様々な箇所に取り入れることが可能になる。

^{*1}かっこよい（そろろう、大きい、ピタッと止める など）

3. 本時における評価活動について

1つ目は、ペアグループで技を見合う場面である。見た直後に、互いに“タイミング”の視点をもって、“何か伝える”ことを意識させる。

2つ目は、壁面カードへグループで記入する場面である。「ここは、こんな技を一緒にする。」「この技を2人ずつする。」など、考えたことを付箋に書かせる。一方で、“考えてみるよりやってみる”グループもあるだろう。技をしてみてから、きちんとカードに残すことも忘れずにさせることで、グループ技の種類を広げられるようにする。

4. 本時の目標

新しく取り入れるグループ技のタイミングを考えながら、楽しくマット 100%に取り組む。

5. 本時において働かせたい見方・考え方

くらべる つなげる まとめる わかる 予想する 見方を変える

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 場の準備, 準備運動</p> <p>○ カエルの足打ちが3回できたよ!</p> <p>2. 課題の確認とグループ活動</p>	<p>・ 音楽を用いて、楽しい雰囲気で行うようにする。</p>
<p>新しいグループ技にチャレンジ! ～タイミングを考えて～</p>	
<p>○ 前転がりをやってみよう。</p> <p>○ この技で、ずらすといいんじゃない?</p> <p>○ ぶつからないようにしましょう。</p> <p>○ 2人でやってみよう。</p> <p>3. ペアグループで見合う</p> <p>○ もっとこうしたらいい。</p> <p>○ ここ良かったよ。</p> <p>○ ▲▲さん, 早かったで。もう少しゆっくりしたら?</p> <p>4. グループ活動</p> <p>○ 順番に転がれたね。</p> <p>○ もっとかっこよく技をしたいな。</p> <p>5. 振り返りと後片付け</p> <p>○ いっしょに前転がりをしたのが楽しかったよ。</p> <p>○ 次は、交差にしてみたいです。</p>	<p>・ グループで話し合った技ができないキッズがいる場合は、グループ内でアドバイスし合って取り組むように声をかける。また、練習の場を用意しておく。</p> <p>・ お互いに距離が近くなりすぎてぶつからないか、安全面に配慮する。</p> <p>・ チャレンジしたグループ技を壁面カードに残させる。</p> <p>・ 上手くいっていないところだけではなく、良かったところも伝えるように声をかける。</p> <p>・ アドバイスをもとに、後半のグループ活動につなげるようにする。</p> <p>技 グループ技のタイミングを考えて、いろいろな技ができる。【活動の観察】</p> <p>・ グループ技を広げることができたのかを問い、次の時間は“方向”を工夫しながら、活動していくことを伝える。</p>

研究授業 I

第2学年 体育科

指導者：則藤 一起

単元名：「マット 100% ～みんないっしょにころがるんだ！～ (音楽に合わせたマット運動遊び)」

【各教科・領域において習得した**知識(内容知・方法知・体験知)**の活用・発揮が促され、互いの探究のプロセスが充実していくイメージ】

